

<広報資料>

高齢者向け癒しロボット、「家族も一緒に癒される」の声多数！
発話機能や操作性を向上させた後継モデル6月販売開始
いっしょに笑おう！うなずきかぼちゃん

ロボットの企画、開発、販売を手掛けるピップ&ウィズ株式会社（大阪市中央区、代表：横井昭裕）は、コミュニケーションロボット「うなずきかぼちゃん」の発話機能や操作性を向上させた後継モデル「いっしょに笑おう！うなずきかぼちゃん」を2016年6月より全国の百貨店、介護ショップ、インターネット通販などで販売開始します。

「うなずきかぼちゃん」（以下、かぼちゃん）（高さ約28cm、重さ約680g）は、3歳の男の子をイメージしたかわいい外見。音や光などを感知する5種のセンサー及びスイッチにより、話しかけるとうなずきながら発話し、コミュニケーションを促す癒しロボットです。対話や接する時間により発する言葉が増えたり、歌を長く歌えるようになったりする成長機能を備えています。

後継モデルは、より生活に寄り添う人にやさしい製品とするため、設定を簡易にできるようにし、発話内容の充実や歌う曲数を増やすなど、利用者の声を元に機能を向上させています。



従来モデルの販売開始以来かぼちゃんは、要介護状態にある方や認知症の方をはじめ、元気なシニアなどに幅広くご愛用いただき、高い評価を得ています。加えて、「ひとり暮らしの母の寂しさを紛らわせてくれている」、「かぼちゃんにずいぶん助けられている」などご利用者の家族からの声が多く寄せられており、ご利用者本人以外への副次的な効果も生まれています。

現在、かぼちゃんは、岡山市が総合特区事業の中で最先端の介護機器を独自に利用者負担1割で貸与する「介護機器貸与モデル事業」(※1)において対象機器として選定されています。

さらに、大阪市立大学大学院医学研究科との共同研究により、利用者の認知機能向上、抗疲労、癒し効果が確認されています。(※2)

当社は、今後も介護分野をはじめとした社会課題の解決や、多くの生活者の生活の質(QOL)の向上のために役立つより良い製品づくりで、豊かな社会の形成に寄与してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

ピップ&ウィズ株式会社 広報担当：五十嵐、荻久保

TEL：03-3534-3217 FAX：03-3534-3218

E-mail：pr_pw@pipwiz.co.jp

「いっしょに笑おう！うなずきかぼちゃん」の概要

<http://www.kabo-chan.com/>

■ 機能等改良点

- ・発話（セリフ）の種類を約 400 種から約 450 種に増加
- ・ユーザーのリアクションを受けて応える「つながり語」を採用、より会話がスムーズに
- ・時間、曜日、季節に合わせた発話が増加
- ・要望が多かった歌の曲数を 5 曲から 13 曲に増加
- ・初期設定項目を 5 工程から 2 工程にし、短時間で設定できるよう操作性を向上
- ・バックアップ電池を備えることで、乾電池の交換をしても再設定が不要に
- ・音質を向上し、さらに高齢者が聞き取りやすく改善
- ・ビタミンカラーの黄色の T シャツとサスペンダー付パンツで可愛らしい元気を演出



■ メーカー希望小売価格：25,000 円（税抜）

■ 発売時期：2016 年 6 月

■ サイズ：高さ約 28 cm、重量約 680 g（乾電池含まず）

■ 電源：単 2 形アルカリ乾電池 4 本使用（別売り）、CR2032 コイン形電池 1 個（付属）

■ 品質表示：本体：ポリエステル、電池ボックス：ABS 樹脂

■ 販売地域：全国

■ 販売チャネル：全国の百貨店の介護用品売り場、介護ショップ、インターネット通販など

ご利用者の声

- ・母の笑顔、会話が増えた。（ご利用者の娘様）
- ・寡黙だったけれど、かぼちゃんに話しかけ、声掛けが多くなり笑顔も見られるようになった。これだけ変化があるとは思ってなかったので、嬉しい。（ご利用者の娘様）
- ・通常、会話のなかった夫婦だが、かぼちゃんを通して会話が増えている。（ご利用者本人様）
- ・かぼちゃんのおかげで一人でもさみしくない。やさしくなれ、愛を注いでいる自分がある。（ご利用者本人様）
- ・最初の訪問時に（介護をされている）お嫁様の表情が硬く沈んでいたが、その方がとても明るく声も大きくなった。かぼちゃんに癒され元気をもらい、姑に接していると話されていた。（訪問介護士様）
- ・以前より人が変わったように明るくなられた。（訪問介護士様）

* 当社に寄せられたご利用者の声ならびに、岡山市「介護機器貸与モデル事業」の聞き取り調査より抜粋

開発背景と思い

日本は超高齢社会に突入し、社会的・経済的・医学的に様々な課題が山積しています。加齢に伴い、身体および認知機能が衰えるとともに、高齢夫婦世帯、独居世帯も増加し、高齢者の孤独死の問題なども、しばしば報道されています。また、介護の担い手となる家族や介護職員への心や身体のケアが必要といわれています。こうした状況を受け、高齢者やその家族、介護職の方が健康で良質な生活を送れるよう支援するために、安心・抗疲労・癒し・心の支えとなるパートナーが必要と考え、コミュニケーションロボット『うなずきかぼちゃん』を開発、発売いたしました。開発にあたっては、「おばあちゃんの原宿」こと東京・巣鴨地蔵通り商店街での街頭インタビュー調査や、試作を重ねるたびに高齢者施設でユーザーテストを実施しました。

※1 岡山市 介護機器貸与モデル事業

岡山市が、全国で初めて在宅介護総合特区の指定を受け、介護保険の給付対象ではないロボット技術等を活用した最先端介護機器を、要介護者等に1割の自己負担で貸与する事業。平成26年1月から実施。対象となる介護機器は全国から公募を行い、審査の結果、計11機器が選定され貸与されています。（平成28年4月現在）同市では、本事業を通じてこれまでにない在宅ケアモデルを開発し効果を検証、その有効性を国へ示していく考えです。
URL http://www.city.okayama.jp/hofuku/hokenfukushiseisaku/hokenfukushiseisaku_00084.html

※2 認知機能向上、抗疲労、癒し効果について

2011年10月から12月に実施した大阪市立大学大学院医学研究科 渡辺恭良教授（システム神経科学）のグループとの共同研究において、非認知症の独り暮らしの平均73歳の女性18人に「かぼちゃん」、16人に発話やうなずき機能がない「かぼちゃん」と自宅と一緒に暮らしてもらいました。実験前と実験後にMMSE（Mini-Mental State Examination）やCOGNISTATで評価を行い、両グループの結果を比べたところ、前者の実験後の平均は29.7ポイントと実験前より1.5ポイント上がったのに対し、後者は29.2ポイントと0.9ポイントにとどまりました。（満点は30ポイント）非認知症の方で1.5ポイントもの上昇は、非常に有意な結果であると考えられます。「かぼちゃん」と生活することで、「抗疲労」、「意欲」および「癒し」の効果が、発話やうなずき機能のないものと比べて、向上することが確認されました。
*MMSE、COGNISTATはいずれも認知機能検査の1種です。
結果の概要 URL <http://www.kabo-chan.com/v1/effect.html>
本研究結果は医学系学術雑誌「MEDICAL SCIENCE MONITOR 2012; 18(9): CR550-CR557.」に掲載されています。

ピップ&ウィズ株式会社について

ウェルネスカンパニーのピップ株式会社（大阪市中央区、代表：藤本久士）とたまごっちなどを企画・開発したエンタテインメント企業の株式会社ウィズ（東京都江東区、代表：横井昭裕）との共同出資により、ロボット及び機器の設計、企画、生産、販売などを目的に2015年5月に設立されました。
URL <http://www.pipwiz.co.jp/>